

# 新たに生まれ変わる神戸・三宮エリアを中心とした 次世代を担うルーキーたちによる まちの研究発表を初・開催します。

## コネクト KOBE コモンス

卒業研究発表編

神戸市には23の大学・短期大学があり、約7万人の大学生が集う中で、神戸生まれや、神戸在住、神戸が好きな学生が沢山います。多くの大学では、学問研究の最終成果として最終学年時に提出する卒業論文や、卒業制作のために各々テーマを設定して研究をします。その中で、これまでも「神戸」をテーマとしたさまざまな研究が行われてきました。しかし、それらの研究発表は学内発表や卒業展示で終わってしまうことが多く、市民や企業、行政の目に触れる機会が少ないのが現状です。神戸の課題を見出し、研究して提案した作品も公に出ることなく、終わってしまっています。そこで今回は「神戸」をテーマとした研究や作品を街の人にも見ていただくきっかけづくりとして、発表の場を設けます。また、街に向けて発表することで神戸の街で活躍する人と、次世代を担う学生が繋がり、実際に実践に向けた交流が出来ることを目的としています。

### 研究発表者の紹介



神戸市・三宮地区における緑地と海風に着目した  
MSSGモデルによる熱環境シミュレーション

大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻  
緑地計画学研究室  
中元 董



共創のアーカイブ  
-神戸における都市の記録と住民の記憶が紡ぐ文化の継承地-

神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻  
栗山研究室  
高橋 龍平



街の鼓動、山の鼓動  
-人と自然を繋ぐスタジアムの再生-

神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻  
栗山研究室  
宮田 耕太郎



丸山プリコラージュ  
-斜面へのタイポロジー-

京都工業繊維大学大学院 工芸科学研究科 建築学専攻  
修士2年  
高村 優月



風立ちぬ仮寓  
-太山寺地域の環境的魅力調査に基づいた集合住宅の設計-

明石工業高等専門学校  
建築学科5年  
大西 治季 / 松田 快翔 / 山本 真幸

### 開催概要

名称 コネクトKOBEコモンス vol.01 -まちの研究発表編-  
日程 令和6年5月22日(水)  
18:30 受付開始 / 19:00 発表開始 / 21:30 終了予定  
場所 アンカー神戸  
兵庫県神戸市中央区加納町4丁目2-1  
神戸三宮阪急ビル 15階 Event / Project space  
聴講参加 どなたでもご参加できます。  
参加申込 下記QRコードより、googleフォームにてお申し込みください。  
企画 コネクト神戸コモンス実行委員会  
共催 神戸市  
問合せ先 コネクト神戸コモンス実行委員会  
代表 井上 小矢香  
メール c.kobe.c2024@gmail.com



↑参加申込はこちらから



アンカー神戸での発表イメージ

神戸の街を創造するルーキー集団

# コネクトKOBECOMONS

が企画運営！

“神戸のルーキーが街を継承し、更新する”

神戸で活動する、若手の“ルーキー”が街に集い、街をジブンゴトとしてクリエイティブしていくための集団“コネクト神戸コモンズ”  
神戸の街に想いを寄せるルーキーが、各々のアイデアを街で共有し発信することで、街の若返りを目指します。

目指していること

①



神戸の街で活動する  
若手のルーキーを集めて  
若年層による情報共有や  
街使いのアイデア発信の場の創出。



②  
さまざまな分野での街使いの  
アイデアを実践するためのチームづくり。



③  
街使いが実践されることで  
街中の平均年齢が下がり、  
神戸の街中で遊びたくなる環境づくり。

“コネクトKOBECOMONS”の由来

2015年より三宮～元町エリアの商店街を中心に、繋げる(コネクト)ことを目的とした集まり「コネクト神戸」  
毎月会議の場を設けており、現在では、商店街に留まらず、行政や商業施設、スポーツ業界などさまざまな業種の仲間が集まって街の情報共有を行い、  
交流を深めています。しかし、メンバーの高齢化が進む中で次世代の若者の参加が少ないことが課題となっています。  
そこで私たちは、“コネクトKOBECOMONS”として、次世代の若手が街に発信できる場としてチームを立ち上げました。

代表について



コネクトKOBECOMONS 代表  
is 代表 井上 小矢香 / Sayaka Inoue

神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科卒業後、建築設計事務所、神戸芸術工科大学にて助手勤務を経て、  
三宮センター街1丁目商店街を中心としたまちづくりや、再開発に向けたエリアマネジメントに携わっている。  
また「三Fストリート」という商店街の憩いの空間を学生と共に設計・施工を行うなど、日々神戸の若者たちと  
関わっている中で、街への気付きやアイデアを次世代のルーキーたちと発信していきたいと考えている。

最新情報は  
Instagramにて↓



@CONNECT\_KOBE.COMMONS

今後の活動予定

2024年5月22日	vol.01	- まちの研究発表編 -	神戸エリアの卒業研究の発表会
6月予定	vol.02	- コモンズ討論会 -	コモンズメンバーによる街への提案会
7月予定	vol.03	- まちの婦人会 -	神戸の街で活動する女性が集結する会
8月予定	vol.04	- 学生研究発表編 -	現役大学生による神戸エリアの研究発表会
9月予定	vol.05	- 夏のまちあそび編 -	神戸の街で夏を満喫する会
10月予定	vol.06	- ハロウィン編 -	神戸の街にギャル集団が現れる!?

# 集え。神戸の若者たち

2024  
**5.22** WED

**KICK  
OFF!!!**

問合せ先 コネクト神戸コモンズ実行委員会  
代表 井上 小矢香

電話 090-1140-1038  
メール c.kobe.c2024@gmail.com

提供写真URL <https://x.gd/pA1Sc>



神戸市・三宮地区における緑地と海風に着目した  
MSSGモデルによる熱環境シミュレーション

大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻  
緑地計画学研究室  
中元 董

本研究は、神戸市・三宮地区を対象に、熱環境緩和のための緑地整備と海風活用を、将来どこでどのように行うことが効果的かを明らかにすることを目的とした。

具体的にはまず、MSSGモデルを用いた数値シミュレーションにより現状の気候を再現、次に2030年の再整備計画完了時の気候を予測し、再整備後の熱環境に関する課題を明らかにした。

さらに、熱環境上の課題地点を対象にその緩和のため、緑地の整備と建物配置による海風の誘導を意図して改善案を提示し、気候を予測してその効果を考察した。

その結果、場所ごとの気温・風分布の違いや課題を明らかにでき、将来の熱環境改善のためには、沿岸部と内陸部で適切に緑地と海風の戦略的な導入をする必要があることがわかった。



共創のアーカイブ  
-神戸における都市の記録と住民の記憶が紡ぐ文化の継承地-

神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻  
栗山研究室  
高橋 龍平

都市における新しい形のアーカイブ施設を提案します。  
アーカイブ施設を従来の郷土資料館や公文書館といった記録を保管する場だけでなく、市民が資料を利用して発信できる場をプログラムに取り入れることを考えます。

これにより、専門家向けだった資料を一般の住民も認識し、活用していくことで都市の記憶を再認識し、未来に継承することが期待されます。現在、市で歴史公文書館を兵庫区にある旧岡方倶楽部の建物を使って整備していますが、地理的な不便さや認知度の問題があると考えます。

そのため、都市の記憶の源泉として、多くの市民に開かれた東遊園地に隣接した場所を計画敷地とし、文化の継承を人々の日常に組み込みます。



街の鼓動、山の鼓動  
-人と自然を繋ぐスタジアムの再生-

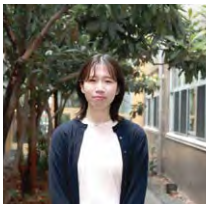
神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻  
栗山研究室  
宮田 耕太郎

下火になっているスタジアムを復活させるため競技者だけでなくこの街に住む人のことを考えて改修案を考える。敷地は神戸市須磨区のユニバー記念競技場である。現在は日常的に活用されることなく街を区切る巨大な建築物となっている。

大会のためだけに建てられて廃墟化するスタジアムの例も後を絶たない。

提案として、スタジアム内を移動する目的だけのコンコースに自習室や休憩室、ギャラリーなど街の人が気軽にいれる機能を設け、交流空間となる回廊を設ける。またそこに緑を取り込むことでもともと山であったこの地域の特徴を取り入れ、自然豊かな公園との仕切りではなく一体となったスタジアムを作り出す。

特定の人が使う場ではなく、多様な人と緑が取り囲み愛着を持てるスタジアムとなる。



丸山プリコラージュ  
-斜面へのタイポロジー-

京都工業繊維大学大学院 工芸科学研究科 建築学専攻  
修士2年  
高村 優月

2021年度卒業設計で発表した、「丸山プリコラージュ-斜面へのタイポロジー-」は、神戸市長田区丸山地区を対象とした、すり鉢状の斜面地に民家がびっしり張りつくように並ぶ独自の風景の多様なタイポロジーをリサーチした。

斜面地の宅地開発におけるハードなひな壇造成や既成住宅にはない、斜面地への生々しい・愉快的反応を捉えて図示した上で、機能主義的な産業社会に対する丸山の斜面にあるべきパブリックスペースを提案した。



風立ちぬ仮寓  
-太山寺地域の環境的魅力調査に基づいた集合住宅の設計-

明石工業高等専門学校  
建築学科5年  
大西 治季 / 松田 快翔 / 山本 真幸

兵庫県神戸市唯一の国宝「太山寺」を対象に「風立ちぬ仮寓」を提案する。仮寓とは仮住まいを意味する。

三方の山に囲まれた太山寺と仮寓には、西南西の風が吹き込む。本堂まで抜ける風を土間に取り入れられるよう、解析により風の変化を可視化しながら配置を検討した。

人々は、人生の節目ごとに家を住み変える。仮寓には寺の暮らしに憧れる住民が集い、寺を支える。

そして、進学や転勤など人生の節目に仮寓を去る。

仮寓の朝は太山寺と共有空間の掃除に始まる。

太山寺の教えのもと住民は食や自然に向き合う。

仮寓を巡る伊川・風・人々の交流が、太山寺に息吹を注ぐ。

住民が住み継いでいくことで太山寺を支え、ともに栄えていく。